

# 音楽科学習指導案

日 時 平成18年11月7日(火)

場 所 音楽室

学 級 2年1組(男20名 女15名 計35名)

指導者 阿部 美穂

協力者 多田英哉(滝沢二中) 赤坂浩史(北松園中)

## 1 題材名 曲の仕組みを理解して聴こう。(2時間扱い)

教材名 ベートーヴェン作曲 交響曲第5番八短調作品67「運命」

## 2 指導内容 学習指導要領「第2学年及び第3学年 B鑑賞(1)ア」

指導事項 - ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音との関わり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される曲想とのかかわりを理解して、楽曲全体を味わって聴くこと。

## 3 題材について

本題材は、交響曲の代表作であるベートーヴェンの交響曲第5番八短調作品67の鑑賞を通して、交響曲の特徴であるソナタ形式、動機の反復、主題の対比や発展によって作品が構成されていることを理解し、作曲者の意図を感じ取り、作品をより深く味わって聴くことができる能力を育成することを目指して設定した。

この作品は、ベートーヴェンの音楽家としての生涯や、古典派としての音楽史上の重要性、管弦楽曲の魅力等、指導内容を豊富に含む教材である。また、全4楽章を鑑賞すると約35分を要する。2時間の限られた指導計画の中では、第1楽章の楽曲構成・形式に焦点を絞って指導したい。特に「ソナタ形式」を学習することは、交響曲はもとより、協奏曲やピアノ・ヴァイオリンソナタ等多くの器楽曲で用いられている形式である。この形式を理解することは、生徒が今後、他の楽曲を鑑賞する際にも手助けとなるものであり、今後の音楽鑑賞への発展が見込まれるものである。

第1時では、「動機」と「第1主題・第2主題」について学習する。「動機」が随所に現れ、楽曲が組立てられていること、性格の異なる2つの主題が対比され、楽曲が構成されていることなどに気づきながら鑑賞する。また、ベートーヴェンの生涯や作品が生み出された背景について要点を取り上げる。

第2時では、ソナタ形式に焦点をあてて学習する。ここでは、前時の学習を基にソナタ形式について説明し、主題提示、展開、再現のどの部分かを考えながら第1楽章を通して鑑賞し、全体構成を把握させる。その中で、ソナタ形式が音楽をより印象深いものにするための作曲手法であることを感じ取らせたい。

指導にあたっては、視覚的な板書を工夫すると共に、楽譜の使用や専門用語の解説を最小限にし、わかりやすい説明や活動を心がけ、「難しい」「長い」「つまらない」という印象を与えがちなクラシック音楽を、より身近なものとして感じ取れるよう配慮したい。

## 4 題材の目標

- (1) 主題の対比や変化、楽曲構成の特徴に関心を持ち、意欲的に聴く。
- (2) 主題の対比や変化、楽曲構成の特徴を感じ取る。
- (3) 主題の対比や変化、楽曲構成の特徴を理解して、楽曲全体を味わって聴く。

## 5 題材の目標と評価規準

	観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点4 鑑賞の能力
題材の目標	・主題の対比や変化、楽曲構成の特徴に関心を持ち、意欲的に聴く。	・主題の対比や変化、楽曲構成の特徴を感じ取る。	・主題の対比や変化、楽曲構成の特徴を理解して、楽曲全体を味わって聴く。
内容のまとめりごとの評価規準	・音楽の構成要素・表現要素の働き及びそれらが生み出す曲想の変化に関心を持ち、意欲的に聴いている。	・音楽の構成要素・表現要素を知覚し、それらが生み出す曲想や美しさを感じ取っている。	・音楽の構成要素・表現要素の働き及びそれらが生み出す曲想の変化を感じ取り、楽曲全体を味わって聴いている。
題材の評価規準	・主題の対比や変化、楽曲構成の特徴に関心を持ち、意欲的に聴いている。	・主題の対比や変化、楽曲構成の特徴を感じ取っている。	・主題の対比や変化、楽曲構成の特徴を理解して、楽曲全体を味わって聴いている。

## 6 学習活動における具体的評価規準

観点1 音楽への関心・意欲・態度	観点2 音楽的な感受や表現の工夫	観点4 鑑賞の能力
動機の繰り返しと積み重ね、2つの主題の対比による表現効果に関心を持ち、意欲的に聴いている。	動機の繰り返しと積み重ね、2つの主題の対比による表現効果を感じ取っている。	動機の繰り返しと積み重ね、2つの主題の対比による表現効果を理解して楽曲全体を味わって聴き取っている。
ソナタ形式について理解し曲の構成の特徴に関心を持ち、意欲的に聴いている。	ソナタ形式について理解し曲の構成の特徴を知覚し、それらが生み出す表現効果を感じ取っている。	ソナタ形式について理解し、曲の構成を理解し、それらが生み出す曲想の変化を感じ取り、楽曲全体を味わって聴いている。

## 7 題材の指導と評価計画

時間	ねらい( )と学習活動	評価方法等
1	<p>動機の繰り返しと積み重ね、2つの主題の対比による曲想の変化に関心を持ち、それらを感じるとともに、楽曲全体を味わって聴く。</p> <p>1 第1主題を聴く。</p> <p>2 曲名、作曲者名を知る。また交響曲の構成についても知る。</p> <p>3 印象に残ったリズムについて話し合う。動機について説明する。</p>	<p>観察 観点1 - (発言や挙手による確認)</p>

<p>4 冒頭 2 4 小節までを聴き、動機が何回繰り返されたかを数える。</p> <p>5 再度冒頭 2 4 小節間までを聴き、動機が何回繰り返されたかを再確認する。</p> <p>6 提示部を聴き、曲の雰囲気が変わった箇所で拳手をする。</p> <p>7 第 1 主題と第 2 主題を比較して、感じ方の違いを学習シートに記入し、発表する。</p> <p>8 動機・第 1 主題・第 2 主題といった用語を確認する。</p> <p>9 指揮者の解釈の違う第 5 番第 1 楽章を聴く。</p>	<p>・動機のリズムを聴き取ろうとする関心・意欲・態度の状況を評価する。</p> <p>観察 観点 1 -</p> <p>・動機の繰り返しや積み重ねの感受の状況を評価する。</p> <p>学習シート 観点 4 -</p> <p>(学習シートの設問の記入状況)</p> <p>(発言の内容や拳手による確認)</p> <p>・2つの主題の感じ方の違いの状況を評価する。</p>
<p>2 楽曲構成(ソナタ形式)を理解し、オーケストラの音色や豊かな響きを聴き取り、楽曲全体を味わって聴く。</p> <p>1 前時に学んだこと動機・第 1 主題・第 2 主題について確認する。</p> <p>2 ソナタ形式について知る。</p> <p>3 第 1 楽章を聴き、提示部・展開部・再現部(コーダ)の始まりの時間を学習シートに記入する。</p> <p>4 周りの人と確かめ合い、提示部・展開部・再現部の開始時間の相違点を確認する。</p> <p>5 第 1 楽章を再度鑑賞し、テレビ画面のテロップを見ながら、ソナタ形式の 4 つの部分の開始時間を確認する。</p> <p>6 速さの違う第 1 楽章を鑑賞しながら、時間を学習シートに記入する。</p>	<p>観察・学習シート</p> <p>観点 1 -</p> <p>・提示部・展開部・再現部(コーダ)の始まりの旋律を聴き取ろうとする関心・意欲・態度の状況を評価する。学習シートへの記入の状況も評価する。</p> <p>観察・学習シート</p> <p>観点 1 -</p> <p>・提示部・展開部・再現部(コーダ)の始まりの時間を、周りの人と照らし合わせて、意欲的に聴いているかを評価する。</p> <p>観察・学習シート</p> <p>観点 2 -</p> <p>・提示部・展開部・再現部(コーダ)の始まりの時間を、それ</p>

7 学習したことを振り返り、本時のまとめとして「分かったこと」を学習シートへ記述する。	<p>ぞれの特徴を捉えて意欲的に聴き取り、おおむね正しい時間が書かれているかを評価する。</p> <p>学習シート 観点4 - ・本時の学習内容を観点にした「分かったこと」を書かせることで、学習内容の実現状況を評価する。</p>
---	--

## 8 本時の評価規準

学習活動における 具体的評価規準	概ね満足できる状況であると 判断する具体的な状況例（B）	Bのうち十分満足できる状況であると 判断する具体的な状況例（A）
<p>【観点1 音楽への関心・意欲・態度】</p> <p>ソナタ形式について理解し曲の構成の特徴に関心を持ち、意欲的に聴いている。</p>	<p>ソナタ形式のどの部分に当たるかを考えながら集中して鑑賞している。</p>	<p>ソナタ形式のどの部分にあたるかを考えながら集中して鑑賞し、その根拠について積極的に意見を述べようとしている。</p>
<p>【努力を要すると判断する生徒（C）への指導の手だての例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソナタ形式の各部分の開始の旋律を、思い出して聴くように促す。</li> <li>・再現部では、提示部の第1主題と第2主題が表れることを想起させる。</li> </ul>		
<p>ソナタ形式について理解し曲の構成の特徴を知覚し、それらが生み出す表現効果を感じ取っている。</p>	<p>学習シートの設問5において提示部、再現部の第1・2主題の開始時間がおおむね示されている。</p>	<p>学習シートの設問5において提示部、展開部、再現部（コーダ）の開始時間がおおむね示されている。</p>
<p>【努力を要すると判断する生徒（C）への指導の手だての例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソナタ形式のしくみを再確認させる。</li> <li>・設問1で確かめた時間を参考にして、聴くことを助言する。</li> </ul>		
<p>ソナタ形式について理解し、曲の構成を理解し、それらが生み出す曲想の変化を感じ取り、楽曲全体を味わって聴いている。</p>	<p>学習シートの設問6「分かったこと」への解答状況に、学習内容の観点のいくつかを生かして、曲想の変化や楽曲全体の雰囲気を感じて自分の考えを書いている。</p>	<p>学習シートの設問6「分かったこと」への解答状況に、学習内容の観点のほとんどを生かして、曲想の変化や楽曲全体の雰囲気を感じて自分の考えをまとめて書いている。</p>
<p>【努力を要すると判断する生徒（C）への指導の手だての例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の観点の1つに着目して、自分の分かったこと、感じたことを書くように促す。</li> </ul>		

9 本時の展開（第2時）

時間	ねらい・学習活動	指導上の留意点	資料・教具
5分	<p>楽曲構成(ソナタ形式)を理解し、オーケストラの音色や豊かな響きを聴き取り、楽曲全体を味わって聴く。</p> <p>1 前時に学んだこと動機・第1主題・第2主題について確認する。</p> <p style="text-align: center;">本時の学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; color: red;">ソナタ形式を理解して聴こう</div>	<p>・動機、第1主題、第2主題をピアノで弾き、どんな旋律であったか、またどんな感じ方をしたかを確認させる。</p>	<p>紙板書 学習シート</p>
35分	<p>2 ソナタ形式について知る。</p> <p>3 第1楽章を聴き、提示部・展開部・再現部(コーダ)の始まりの時間を学習シートに書く。</p> <p>4 周りの人と確かめ合い、提示部・展開部・再現部(コーダ)の開始時間の相違点を確認する。</p> <p>5 第1楽章を再度鑑賞し、テレビ画面のテロップを見ながら、ソナタ形式の4つの部分の開始時間を確認する。</p> <p>6 速さの違う第1楽章を鑑賞しながら、時間を学習シートに記入する。</p>	<p>・ソナタ形式の、提示部・展開部再現部・コーダの枠組みを、建造物の絵を使い、視覚的に理解させる。展開部・再現部はピアノで弾き、始まりの旋律を知らせる。</p> <p>・テレビの脇にある時計を見ながら、提示部・展開部・再現部(コーダ)の開始時間を学習シートに記入させる。</p> <p>・5秒くらいの誤差はあることを確認し、周りの人と確かめ合いをさせる。</p> <p>・画面下に表れる表示(ソナタ形式のテロップ)と時計を見ながら自分の開始時間が正しかったかを確認しながら鑑賞する。</p> <p>・ソナタ形式を理解させるために説明で活用した建物の絵を想起しながら、聴くことを意識させる。</p>	<p>絵 紙板書 学習シート</p> <p>DVD 時計</p> <p>DVD 時計</p> <p>CD</p>
10分	<p>7 学習したことを振り返り、本時のまとめとして「分かったこと」を学習シートへ記述する。</p>	<p>・本時の学習課題に対するまとめを書かせる。</p> <p>・何人かに発表させる。</p>	<p>学習シート</p>

10 本時の展開（細案）

時間	ねらい・学習活動	具体的な進め方	資料・教具
	<p>楽曲構成（ソナタ形式）を理解し、オーケストラの音色や豊かな響きを聴き取り、楽曲全体を味わって聴く。</p> <p>1 前時に学んだこと動機・第1主題・第2主題について確認する。</p>	<p>黒板には、「曲の仕組みを理解して聴こう」と曲名、作曲者名が書かれている。 提示部の絵は貼られてある。</p> <p>プリントは事前に配布しておく。</p> <p>（T）前の時間に交響曲第5番八短調第1楽章を鑑賞しました。ここから、前の時間の復習をします。この曲の作曲者はだれですか。 （S）作曲者は、ベートーヴェン。 （T）その第1楽章には、印象的なリズム「ダ・ダ・ダ・ダーン」というリズムが何度も表れましたが、なんと言いましたか。 （S）動機です。 （建物の一部の絵と動機と書かれた紙板書を黒板に掲示する） （T）ベートーヴェンは「運命はこのように扉を叩く」と言ったので、この曲は別名「運命」とも呼ばれています。 （T）その動機が、このように（ピアノで第1主題を弾く）繰り返されて演奏される旋律を、何と言いましたか。 （S）第1主題です。 （第1主題と書かれた紙板書を黒板に掲示する） （T）それでは次の旋律は何と言いましたか。（第2主題をピアノで弾く） （S）第2主題です。 （第2主題と書かれた紙板書を黒板に掲示する） （T）第1主題は、どんな感じがしましたか。 （S）力強い、勇ましい感じがした。速い。 （T）第2主題は、どんな感じ方をしましたか。 （S）優しい感じがした。ゆったりとした感じ。 （T）それでは、第1主題と第2主題を比べてみると、どうでしたか。（似た感じでしたか？） （S）対照的（違う）な感じがする。 （T）さて、今日は交響曲について、深めて勉強しますが、確かめたいことが2つあります。交響曲の演奏形態はなんですか。 （S）オーケストラ。 （T）そう、オーケストラで演奏され、もう一つはソナタ</p>	<p>紙板書 学習シート</p>

5分		<p>形式を中心して演奏される楽曲なのです。ソナタという言葉聞いたことあるかな。それでは、今日はそのソナタ形式を勉強します。</p> <p>今日の学習課題は「ソナタ形式を理解して聴こう」です。</p>	
	2 ソナタ形式について知る。	<div data-bbox="296 383 1023 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【本時の学習課題】 「ソナタ形式を理解して聴こう」</p> </div> <p>(T) ソナタ形式について説明します。学習シートに書き込みながら聴いてください。</p> <p>ソナタ形式は、主に3つの部分からなっています。1つ目は提示部。提示部は、先ほど対照的な関係にあると確認した第1主題と第2主題からなっています。そして、普通は2回繰り返されます。リピート記号も書くように指示。</p> <p>(黒板に貼り付けてある絵を指さしながら説明する)</p> <p>2つ目の部分は展開部と言います。</p> <p>(建物の一部の絵と展開部と書かれた紙板書を黒板に掲示する。)</p> <p>展開部の始めの部分はこのような旋律です。(ピアノで弾く)どんな感じがしますか。</p> <p>(S) 動機のリズムが、たたみかけるように演奏されている。</p> <p>(T) その通りです。提示部で示された主題が形を変え、発展して行くような部分です。</p> <p>3つ目に出現するのが再現部です。(建物の一部の絵と再現部と書かれた紙板書を黒板に掲示する)</p> <p>再現部は、再び提示部の第1主題、続いて第2主題が表れます。(建物の一部の絵と第1・2主題と書かれた紙板書を黒板に掲示する)</p> <p>この3つの部分がソナタ形式の大切な部分ですが、最後に、コーダといい、(ピアノで弾く)クライマックスを作って曲を締めくくります。(建物の一部の絵とコーダと書かれた紙板書を黒板に掲示する)</p> <p>更に、曲によっては提示部の前に序奏(イントロ)が入る場合もありますが、この曲の場合は、いきなり提示部から始まっています。</p> <p>(全体像が表れた黒板の絵を差して)さて、これは何ですか。</p> <p>(S) お城。国会議事堂。etc.</p> <p>(T) これは、インドにあるタージマホールとい</p>	絵 紙板書 学習シート

3 第1楽章を聴き、提示部・展開部・再現部（コーダ）の始まりの時間を学習シートに書く。

4 周りの人と確かめ合い、提示部・展開部・再現部（コーダ）の開始時間の相違点を確認する。

5 第1楽章を再度鑑賞し、テレビ画面のテロップを見ながら、ソナタ形式の4つの部分の開始時間を確認する。

う建物です。

音楽は、時間の流れと共に消えていくもので、一目で見ることができません。つまり、**形式がこの建物のように目に見えるものではありません**。しかし、**ソナタ形式の場合、この絵のような設計をもとに作られているのです**。それを分かって聴くことが大事なんだよ。

（T）**それでは、実際に第1楽章を聴き、ソナタ形式を聴き取ってみましょう**。楽譜で見れば良いのですが、**難しくなるので、今回は時計を用意しました**。4つの部分が、何分何秒から始まっているのかプリントに記入しながら聴いてみましょう。学習シート1の図の空欄に、テレビの脇にある時計を見ながら、提示部・展開部・再現部・コーダの開始時間を記入してください。

**なお、提示部は2回繰り返されますから、2回目は下の段に書いて下さい**。

聴く前に確認しておきたいことは、開始時間は0：00の記入をしてください。曲の終わりの時間は、8：39です。

（T）ソナタ形式の4つの部分の始まりが分かりましたか。それでは、隣近所の人と開始時間を確かめ合ってください。また、ぴったり開始時間が一緒というのは、なかなかないと思います。5秒くらいの誤差は、OKにしましょう。

（だいたい確認したのを見計らって）

周りの人と自分の開始時間は、どうでしたか。

（S）だいたい一致していた。どこが、ソナタ形式のそれぞれの部分の開始なのか聞き分けるのが難しかった。みんなバラバラだった。

（T）周りの人たちと開始時間が一致している人もいれば、そうでない人もいました。このままだともやもやとした気持ちが晴れないので、DVDを見て、画面下に表れる表示（ソナタ形式のテロップ）と時計を見ながらソナタ形式の4つの部分の開始時間を確認していきましょう。時計は始まりの時間を止めるので、開始時間が違うところは、赤ペンで添削しましょう。（それぞれの部分の説明を入れる）

さて、提示部・展開部・再現部・コーダの開始時間は当たっていましたか。

提示部の1回目の第2主題の開始時間があっていた人？（挙手させる）

D V D  
時計

D V D  
時計

<p>分</p>	<p>6 速さの違う第1楽章を鑑賞しながら、時間を学習シートに記入する。</p>	<p>提示部の2回目の第1主題の開始時間があった人？（挙手させる）  展開部の開始時間があった人？（挙手）  再現部の第1主題の開始時間があった人？（挙手させる）  コーダの開始時間が分かった人？（挙手）  2度繰り返される提示部の第1主題、第2主題、再現部の第1主題、第2主題の開始時間が解れば、ソナタ形式の大まかな構成を理解して聴くことができたと言えます。展開部とコーダの開始時間まで合っていたら、大変立派です。  学習課題をもう一度確認しますが、「ソナタ形式を理解して聴こう」でした。  今日は、ソナタ形式の4つの部分の開始時間を当てることが目的ではないからね。おぼろげでも、4つの部分がここから始まっていて、ソナタ形式の音楽の流れやしきみが分かることです。ベートーヴェンもこのソナタ形式の設計図を基にしてこの曲を作曲していったのです。</p> <p>（T）それでは、ソナタ形式を理解して聞けるかどうか小テストをします。今度は指揮者が違う交響曲第5番第1楽章を聴きます。指揮者が違いますから、速さも違います。当然、時間も違います。学習シート5の図の空欄に、ソナタ形式の各部の開始時間を記入してください。これはソナタ形式が理解できているかどうかの評価になりますから、しっかり聴いて記入してください。  鑑賞の前に、開始時間0：00、終了時間7：07を記入してください。また波線の部分に、4つの部分の名前を書いてください。  （鑑賞が終わってから）</p> <p>小テストですので、後で丸付けをして学習シートを返します。</p>	<p>C D</p>
<p>7</p>	<p>学習したことを振り返り、本時のまとめとして「分かったこと」を学習シートへ記述する。</p>	<p>（T）本時の学習課題「ソナタ形式を理解して聴こう」についてのまとめをしましょう。先週、一番始めにこの第1楽章を通して聞いてもらいました。ソナタ形式を学習して、今聞いたものと、感じ方にどんな違いがあったのでしょうか。学習シートの6を見てください。「運命」、「ソナタ形式」、「提示部」、「展開部」、「再現部」、「コーダ」のキーワードを参考にして、音楽の作り方、音楽の感じ方について分かったことを書いてください。  （机巡視をし、指名する生徒を決めておく）</p>	<p>学習シート</p>

10分	<p>発表を　　さんをお願いします。</p> <p>(最後の言葉として、ソナタ形式が200年もの歴史がある。また、ソナタ形式は、瞬間瞬間消えていく音楽をより印象深いものにするため<b>発展してきた。ソナタ形式を使った曲は、交響曲、ピアノソナタ等沢山ある。ベートーヴェン、モーツァルト、ブラームス、チャイコフスキー、ドボルザーク・・・沢山の名曲が残されている。今回の学習を手がかりとして、自分で他の曲も聴いてみて欲しいことを話したい)クラシック音楽がより身近なものになるのではないのでしょうか。</b></p>
-----	--